

**市民広聴会「まちづくりエリアミーティング（第6回）」**  
**意見交換内容まとめ（概要）**

<テーマ> 市政全般

日時	令和4年11月20日（日）14時～15時30分
会場	図書館交流プラザ・りぶら
出席者	市長、参加者42名

回答については、当日の意見交換内容に加え、市の今後の対応予定等も記載しています。

参加者意見	回答
<p>&lt;聴覚障がい者の交流の場をつくってほしい&gt;            ビルの空き店舗に手話カフェや聴覚障がい者のコーヒーストックなど聴覚障がい者の交流の場をつくってほしい。</p>	<p>&lt;聴覚障がい者の交流の場を作ってほしい&gt;            岡崎市には、障がい者が中心となれるイベントを開催したり誰でも利用できる交流・喫茶スペースがある友愛の家や、市役所の中に福祉事業所が交代でお店を出しているふれあいショップがありますので、そういった交流の場を御活用いただければと思います。なお、民間の建物を借りるには家賃などの課題の整理や調整が必要になります。            また、市主催のイベントなどで出店する意向がありましたら開催場所の相談などに協力していきたいと思います。</p>
<p>&lt;市民交流拠点と竜美丘会館の将来計画について&gt;            （仮称）おかざき乙川リバーフロント交流拠点と竜美丘会館の将来計画について教えてください。</p>	<p>&lt;市民交流拠点と竜美丘会館の将来計画について&gt;            従来の計画ではコンベンションホールとホテル、商業施設だけの計画でしたが、市民意見の聴取を踏まえた現在の計画は、天候に関係なく、こどもから高齢者、障がい者まで誰もが居心地の良い、1年365日賑わいを創出する場所にしていくこととしています。そのために、コンベンションホールやホテル等に加え、例えばバーチャルな活用ができる会議室や全天候型の芝生広場を作ることなどを考えています。今は、市民意見を踏まえた現在の計画を実現するため</p>

	<p>にどれくらいの費用が必要かを、昨今の物価高等を加味して精査をしています。</p> <p>竜美丘会館については、(仮称)おかざき乙川リバーフロント交流拠点の整備状況を踏まえ施設機能や利用実態を確認し、機能重複が見られた場合は、集会施設としての位置付けを継続するか、施設目的を変更するかを検討します。</p>																																																
<p>&lt;戦争に関する資料館をつくってほしい&gt;</p> <p>長崎県、広島県には原爆資料館があります。東京都には東京大空襲・戦災資料センター、豊川市には平和交流館があります。岡崎は空襲であれだけひどい目に遭ったにも関わらず戦争に関する資料館がありません。後世の人に戦争の惨禍を知ってもらえるよう、岡崎に戦争に関する資料館をつくってほしいです。</p>	<p>&lt;戦争に関する資料館をつくってほしい&gt;</p> <p>新規施設を建設するには相当な時間と経費が必要であり、既存施設を活用するとしてもどこに配置できるか検討が必要です。</p> <p>現在は、平和祈念式・各地での慰霊祭の実施、美術博物館で開催する企画展に合わせて市が所蔵する資料の展示や、図書館交流プラザにおいて毎年定期的に戦争に関する資料を展示するなどして、戦争と平和について考える機会を設けています。</p> <p>&lt;参考：岡崎市における平和祈念関連行事の実績&gt;</p> <table border="1" data-bbox="967 710 2092 1264"> <thead> <tr> <th>日にち</th> <th>行事名</th> <th>内容</th> <th>実施主体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年7月31日～9月26日</td> <td>企画展「水木しげる 魂の漫画展」</td> <td>自らの「戦争体験」を伝えようと制作した作品とともに、美術博物館が所蔵する戦時資料76点を「岡崎と戦争 - 収蔵戦時資料の紹介」と題したコーナーを設け展示</td> <td>岡崎市(美術博物館)</td> </tr> <tr> <td>令和4年6月28日～7月26日</td> <td>企画展示「戦時下の暮らし」</td> <td>国民服、防災頭巾、日の丸国旗(寄せ書き)等を展示、戦時下の暮らしを紹介。岡崎むかし館で開催</td> <td>岡崎市(中央図書館)</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月1日～8月30日</td> <td>ガラスケース展示「戦中資料」</td> <td>中央図書館所蔵の岡崎の戦争に関する資料の展示。中央図書館1階ガラスケースで展示</td> <td>岡崎市(中央図書館)</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月15日</td> <td>岡崎市平和祈念式</td> <td></td> <td>岡崎市(地域福祉課)</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月19日</td> <td>岡崎空襲の市民慰霊祭</td> <td></td> <td>岡崎空襲を記録する会</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月2日～9日</td> <td>岡崎空襲と戦争りぶら展</td> <td>岡崎空襲のわかるパネルや写真、焼夷弾等の展示。りぶらギャラリーで開催</td> <td>主催：岡崎空襲を記録する会 協力：岡崎市(中央図書館)</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月23日</td> <td>河合地区戦没者慰霊祭</td> <td></td> <td>河合地区遺族会</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月10日</td> <td>宮崎学区戦没者慰霊祭</td> <td></td> <td>宮崎学区遺族会</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月11日</td> <td>招魂祭</td> <td></td> <td>岡崎市遺族連合会</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月13日</td> <td>六ツ美地区戦没者慰霊祭</td> <td></td> <td>六ツ美地区遺族会</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月25日</td> <td>豊富学区戦没者慰霊祭</td> <td></td> <td>豊富学区遺族会</td> </tr> </tbody> </table> <p>各地慰霊祭については、市が把握しているものに限る</p>	日にち	行事名	内容	実施主体	令和3年7月31日～9月26日	企画展「水木しげる 魂の漫画展」	自らの「戦争体験」を伝えようと制作した作品とともに、美術博物館が所蔵する戦時資料76点を「岡崎と戦争 - 収蔵戦時資料の紹介」と題したコーナーを設け展示	岡崎市(美術博物館)	令和4年6月28日～7月26日	企画展示「戦時下の暮らし」	国民服、防災頭巾、日の丸国旗(寄せ書き)等を展示、戦時下の暮らしを紹介。岡崎むかし館で開催	岡崎市(中央図書館)	令和4年7月1日～8月30日	ガラスケース展示「戦中資料」	中央図書館所蔵の岡崎の戦争に関する資料の展示。中央図書館1階ガラスケースで展示	岡崎市(中央図書館)	令和4年7月15日	岡崎市平和祈念式		岡崎市(地域福祉課)	令和4年7月19日	岡崎空襲の市民慰霊祭		岡崎空襲を記録する会	令和4年8月2日～9日	岡崎空襲と戦争りぶら展	岡崎空襲のわかるパネルや写真、焼夷弾等の展示。りぶらギャラリーで開催	主催：岡崎空襲を記録する会 協力：岡崎市(中央図書館)	令和4年10月23日	河合地区戦没者慰霊祭		河合地区遺族会	令和4年11月10日	宮崎学区戦没者慰霊祭		宮崎学区遺族会	令和4年11月11日	招魂祭		岡崎市遺族連合会	令和4年11月13日	六ツ美地区戦没者慰霊祭		六ツ美地区遺族会	令和4年11月25日	豊富学区戦没者慰霊祭		豊富学区遺族会
日にち	行事名	内容	実施主体																																														
令和3年7月31日～9月26日	企画展「水木しげる 魂の漫画展」	自らの「戦争体験」を伝えようと制作した作品とともに、美術博物館が所蔵する戦時資料76点を「岡崎と戦争 - 収蔵戦時資料の紹介」と題したコーナーを設け展示	岡崎市(美術博物館)																																														
令和4年6月28日～7月26日	企画展示「戦時下の暮らし」	国民服、防災頭巾、日の丸国旗(寄せ書き)等を展示、戦時下の暮らしを紹介。岡崎むかし館で開催	岡崎市(中央図書館)																																														
令和4年7月1日～8月30日	ガラスケース展示「戦中資料」	中央図書館所蔵の岡崎の戦争に関する資料の展示。中央図書館1階ガラスケースで展示	岡崎市(中央図書館)																																														
令和4年7月15日	岡崎市平和祈念式		岡崎市(地域福祉課)																																														
令和4年7月19日	岡崎空襲の市民慰霊祭		岡崎空襲を記録する会																																														
令和4年8月2日～9日	岡崎空襲と戦争りぶら展	岡崎空襲のわかるパネルや写真、焼夷弾等の展示。りぶらギャラリーで開催	主催：岡崎空襲を記録する会 協力：岡崎市(中央図書館)																																														
令和4年10月23日	河合地区戦没者慰霊祭		河合地区遺族会																																														
令和4年11月10日	宮崎学区戦没者慰霊祭		宮崎学区遺族会																																														
令和4年11月11日	招魂祭		岡崎市遺族連合会																																														
令和4年11月13日	六ツ美地区戦没者慰霊祭		六ツ美地区遺族会																																														
令和4年11月25日	豊富学区戦没者慰霊祭		豊富学区遺族会																																														

<p>&lt;南公園の改装と子どもの意見の反映について&gt;</p> <p>南公園が改装されるという話がありましたが、インクルーシブな公園にしてほしいです。屋内遊具は岡崎の木を活かし、東京都のおもちゃ美術館のような木を主にした室内設備の構想がありますか。また、こういった計画を立てる際に、子育て世代、子どもの声は聞かれていますでしょうか。11月20日はこどもの権利の日です。周辺市町村ではこどもの権利条例が制定されていますが岡崎にはまだないということも含め、子どもの声をどのように聞かれているのかをお聞きしたいです。</p>	<p>&lt;南公園の改装と子どもの意見の反映について&gt;</p> <p>南公園の再整備にあたっては、アンケートやパブリックコメントのほか、小学生から高齢のかたまで参加いただいたほっとミーティングなどを通して、市民ニーズの把握に努めてきました。また、令和4年8月に開催された生徒市議会では中学生から未来の南公園に対する提案を受けましたので、参考とさせていただきたいと思います。屋内遊戯施設自体の木造化は構造上の制約もあり、事業者側の提案の幅を狭める可能性もあるため困難ですが、内装など木質化できるところは検討していく予定です。今後も、市民の皆さんに愛される南公園となるように改修計画を進めていきたいと考えています。</p> <p>岡崎市は、子ども施策の総合的指針である「おかざきっ子 育ちプラン」に子どもの権利を確保することを明示しています。また、令和4年6月25日に子育て世帯の声を聴く「みんなの声でつくる！おかざきこそだて会議」を開催しており、そこで出た要望のひとつである保育園での紙おむつの自園処理・紙おむつのサブスクは、実現に向け前向きに検討していきたいと考えています。</p>
<p>&lt;地域の自主的な清掃活動に市民活動総合補償保険を適用してほしい&gt;</p> <p>地域の皆さんが自主的に団地の下水処理施設の清掃活動をする際に、参加する皆さんが安心して清掃活動に参加できるように、岡崎市が加入している市民活動総合補償保険の適用をお願いしたいです。</p>	<p>&lt;地域の自主的な清掃活動に市民活動総合補償保険を適用してほしい&gt;</p> <p>市民活動総合補償保険は公益活動に対する保険です。下水処理施設が公道に面していてその法面の木の伐採などの美化活動を行うことで地域の安全にもつながる場合、本保険の対象となります。</p>
<p>&lt;岡崎ふるさとかるたについて&gt;</p> <p>2016年に実施された市制100周年記念事業の市民プロジェクト支援事業「新世紀岡崎チャレンジ100」で岡崎市から補助金をもらい、市民の皆さんから句を募集し「岡崎ふるさとかるた」を制作しました。小・中学校、保育園などに配ったり、岡崎図書館まつりでかるた大会を開</p>	<p>&lt;岡崎ふるさとかるたについて&gt;</p> <p>本事業の支援を受けて実施されたプロジェクトの今後については実施主体にお任せしていますが、岡崎市は市民活動団体の登録制度を設けており、市民の皆さんが行う公益活動を応援しています。市民活動団体に登録すると「岡崎市市民公益活動事業費補助金」を申請することができますので、図書館交流プラザ2階にある市民活動センターに相談いただければと思います。</p>

催し、入賞者にプレゼントしてきましたが、在庫が少なくなってきました。市民の皆さんと一緒に作った、岡崎の自然・文化・歴史、いいところがいっぱい詰め込まれたかるたなので、市で増刷し活用していただきたいです。

また、岡崎文化協会に団体加盟していただければ、文化協会の事業のなかでかるたを活用していただくこともできるかと思います。具体的には、文協文化祭での「かるた大会」の実施、かるたの展示などが考えられます。他にも文化協会では、体験学習指導者派遣事業として、子どもたちに体験や鑑賞を通して文化・芸能の理解を深めていただくため、希望する小中学校へ、各団体から指導者を派遣しています。かるたという日本の伝統的な遊びを通して岡崎の歴史を子どもたちに学んでもらう良い機会になると思います。

(了)